

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 3年 12月 19日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4607201062
法人名	社会福祉法人 祥健会
事業所名	グループホームとうごう苑
所在地	鹿児島県薩摩川内市東郷町斧淵2636-1 (電話) 0996-23-6551
自己評価作成日	令和3年11月 30日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和3年12月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

苑の理念である「あなたの歩みに合わせ 自由な風の中 明るく健康であなたらしく 安心して生活が送れるよう そっと寄り添います。」とモットーである「やさしい手に温かい心を添えて 住み慣れた地域の中 明るい笑顔で 心のこもったふれあいと その人らしさを大切にします。」を毎日忘れることなく、入居者様が笑顔でいきいきと居心地よく過ごしていただけるよう、スタッフ、ご家族、地域の方々、ボランティアの方々とは協力し、取り組んでいます。入居者様の重度化も進み、新型コロナウイルス対策の為、面会にも制限規定がかかり、ご家族様、入居者様、そしてスタッフのストレスもピーク状態の中、苑内で互いが発散できるように、誕生会やレクリエーションなどで楽しんでいただいています。「苑便り」もパソコン制作ではなく、手作りで温かみのあるものでご家族様には、「いつも楽しみにしています。」と喜ばれています。

また、グループホームの終の棲家とされる方も増え、協力医療機関や専門医などの医療関係者と連携を取り、住み慣れた場所で、顔なじみのスタッフやご家族に囲まれながら、適切な医療を受け、最後まで、その方らしく過ごせる様、ターミナルケアにも取り組んでいます。スタッフは、研修参加などで、スキルアップに努め、入居者様の人権尊重と安心して笑顔で暮らしていただけるよう、質の高いケアを目指し、スタッフ一同協力しながら取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、薩摩川内市東郷地区の、自然豊かな農村地帯の一角に平成16年に開設されている。広い敷地に平屋建て1棟に1ユニットずつの設置で、近くには同法人の小規模多機能ホームや温泉施設「ゆったり館」、個人住宅等がある。ホーム全体が和風の雰囲気、玄関前には老木の梅を配した築山があり、建物の内部も木材をふんだんに使った構造で和紙のカバーの照明器具や障子戸などで和やかで平穏に暮らせる環境である。小規模多機能ホームとは会議室を借りるなど協力体制を構築している。母体法人の協力医療機関とは日常的に密な連携を図り、早期治療や適切な医療の体制が構築されて、利用者や家族の安心に繋がっている。

開設以来、地域の一員として行事への参加や日頃の交流を大切に取り組んできている。コロナ禍のため現在は制限も多いが、利用者は日常的に広い園庭を散歩や日光浴しながら野菜や草花を愛で、また、感染対策を徹底しての窓越しの面会やドライブにより季節の花や馴染みの街並み、自宅周辺の景色等を車窓から楽しんでいる。地域の清掃作業に参加し、地域住民からの認知症対応の相談に専門性を生かして丁寧に助言するなどの交流に努めている。

管理者及び職員は、ホームの理念やケアのモットーを常に意識して、尊厳や人格、想いを大切にされたケアに努めており、心身の状態や生活習慣等に配慮しながら本人の意向に沿って利用者毎の趣味の支援に取り組むなど、利用者主体の生きがいのある暮らしとなるように取り組んでいる。利用者及び家族からの要望等を、ケアの中や面会、電話等で汲み取り、連絡ノートも活用して共有し、全員で協議して改善に繋げており、本調査のアンケートからも家族の信頼度の高さが窺える。

管理者及び職員は、お互いに感謝の気持ちで気軽に意見を言い合える良好な人間関係を構築しており、日頃の業務の中やスタッフ会議、連絡ノート等で忌憚なく意見や要望を出し合って改善に努め、また、家庭状況や個人的な事情等も思いやりながらサービスの向上や働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	新設当初より職員全員で理念を考え作成し、業務開始・終了時、唱和することで日々ケアに対する反省・目標等意識して業務に努めている。	開設時に職員全員で作成した理念はケアのモットーと共に玄関に掲示し、また、朝夕の申し送り時に唱和して周知を図っている。スタッフ会議やケアカンファレンス時に振り返りや意見交換を行って意義を共有し、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	現在は、コロナ渦の為、感染防止の為、交流は中止していません。以前は地域の交流会等、参加していました。	コロナ禍のため交流に制限があり、従来交流してきたサロンへの参加やホームの敬老会等の行事への住民参加も控えている。地域のイベントの多くが中止となっているが、通院や周辺の散歩時の挨拶や地域の人から野菜、果物を頂戴などの交流は継続している。地域の清掃作業に参加し、認知症の人の家族から寄せられる相談に丁寧に助言するなど、可能な限り交流に取り組んでいる。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	通常であれば避難訓練や行事の際、地域住民やボランティアの方々にご協力を頂き認知症の方への理解を深めています。今はコロナ渦の為、文書などにて説明している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催している。状況などを説明して意見やご指導をお聞きしてホームに持ち帰り情報を共有しサービスの向上に活かしている。現在はコロナ渦の為、中止している。	会議は高齢者代表や民生委員、家族、消防署等が出席して隔月毎に開催しているが、コロナの感染状況によっては一堂に会することは控えて書面での会議に変更している。利用者の状況やホームの運営や行事、感染症予防策、身体拘束等を熱心に協議して改善に努めており、書面会議や欠席の委員には、資料を届けて意見を貰っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	おもに管理者が対応している。連絡・報告・相談などご指導を頂きながら協力関係を密に築けるよう取り組んでいる。	市の担当者には窓口に出向いたり電話で、介護保険の更新や各種制度に関する報告や協議、感染症予防に関する相談を行い、助言、指導、提案を貰うなど、日頃から協力関係を築いている。市主催のリモートによる研修にもスマホを活用して参加し、運営やサービスの向上に繋げている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を設置し毎月のホーム内研修・関連事業所の全体研修もあり、常日頃より拘束しないケアに努めている。	身体拘束や高齢者虐待については法人及びホーム独自で計画的に研修を実施して認識を共有しており、スタッフ会議、毎日の申し送り時に振り返りや意見交換を行って拘束の無いケアに取り組んでいる。指針を整備し、適正化を目的とした身体拘束廃止委員会を年4回開催している。事例研修やケアの方法等の検討を行っており、利用者の思いを汲み取り、尊厳や個性を大切にした支援に取り組んでいる。不適切な言動には管理者はじめ職員は、その都度注意し合って改善に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止も同様委員会を設置して各部署・全体研修を行っている。ニュース等、施設での虐待による事件が報道されているのをよく聞く。スタッフがストレスを感じる事のないケアに努めることが大切である。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護制度はあまり詳しい内容は知りませんが以前、後見制度を利用された入居者様がおられました。研修会に参加する機会があれば参加したいと思えます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約については十分時間を取り、各項目丁寧に説明している。疑問点を尋ね納得された上で契約して頂いている。(管理者対応)		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者様の状況報告と毎月苑だよりとともに郵送している。又、面会簿にて意見要望等の記入欄を設けて面会に来られたご家族様へスタッフからも聞いている。	利用者や家族との信頼関係を大切に、気軽に意見を言ってもらえるように配慮しており、利用者の思いを日頃の会話や仕草、サイン等で汲み取り、家族からは面会や電話、意見箱で、また、毎月の状況報告や園便りで利用者の現状を伝えながら意見や要望等を把握している。職員は出された意見を共有し、スタッフ会議等で協議して改善に繋げており、家族の意向に沿った面会も感染症対策を徹底したうえで短時間、窓越しで実施している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会議などにて管理者は職員の意見を聞き、最善の方法をみんなで話し合いまとめて運営に反映させている。	管理者と職員はお互いに感謝の気持で気軽に意見を言い合える関係を構築しており、通常の業務の中やスタッフ会議、申し送り等で意見や要望を把握し、個人的状況や家庭事情にも配慮しながら改善に取り組んでいる。勤務シフトには個人の希望や有給休暇の取得促進に配慮し、ケアへの助言や研修の実施に努めるなど、働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。資格取得や外部研修受講時の経費については法人による助成制度があり、職員のモチベーションアップに繋がっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者はスタッフが働きやすい環境づくりに努めている。一人ひとりの勤務希望を調整したり、仕事に対する要望などを聞き入れてくれている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修はコロナ渦で自粛中であるが、法人内の研修にはレポート提出状況によっては開催され参加している。又、資格取得を推進支援している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>事業者がGH連絡協議会に加入し、定期的な研修会や交流会に参加し意見交換などを行い、サービス質の向上に取り組んでいる。（現在は中止）</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	申込時や入居時、ご本人に面会したり見学に来て頂き、これまでの生活歴・身体状況などをスタッフ全員が把握しこれから始まる新しい生活への不安や要望をお聞きし、安心して頂けるよう配慮している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	申込時、現在のご本人・ご家族様の要望・困っていること等伺いホームでの支援内容ご家族に協力して頂く事などをお話しながら関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人・ご家族様との対話の中からどのような支援を望まれているのか見極め、安心して生活できるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の大先輩として今までの経験を踏まえ、共に過ごす中で信頼関係を築ける様にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居されてからも入居者様とご家族との絆が途切れないよう配慮し常に入居者様の状況にて入居者様・ご家族様中心を支えていけるよう支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今コロナ感染で面会・外出もできない状況ですが、電話などでお話をされたりスタッフから様子を伝え関係が途切れないよう努めている。	各利用者の馴染みの情報や思いを把握しており、面会は窓越しで短時間実施し通院時や食材の買い出しの車に同乗して街並みや自宅周辺の景色、季節の花を車窓から楽しむなど取り組んでいるが、コロナ禍に配慮して外食や、家族との会食、ボランティアの受け入れ等は控えている。利用者の写真を添付した毎月のお便りを手書きで作成し状況を伝え、電話、手紙の取り次ぎにも努めて関係が途切れないように取り組んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士がいつでもコミュニケーションがとれる環境を作り、また意思疎通が難しい入居者様にはスタッフがかけはしとなりコミュニケーションが取れるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	以前、退去された入居者さま野ご家族からの照会され入居希望の方が来られたり、来苑された時には必要に応じた支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	思いや希望を直接本人に聞いたり、意思疎通が困難な入居者様にはご家族からの情報や支援していく中で気持ちをくみ取れることが出来るよう支援している。	利用開始時の関係機関からの情報や、日々の会話、表情、仕草等から利用者の思いを汲み取り、家族の意向も確認しながら利用者主体のケアに取り組んでいる。認知症を患ってもその人らしい生きがいのある生活となるように、趣味（読書やぬり絵、テレビ視聴他）や食材の下処理やお盆拭きなどの家事の取り組みも、利用者の意向や残存能力等に配慮して個別に支援し、その成果には、評価や感謝の言葉を添えている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回面会でサマリーをスタッフ間で見聞きし、情報を共有することで最善のケア・サービス内容が提供できるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活リズムを把握し本人の出来る能力を生活の中でいつでも活用できる場を提供し、新しい発見を見出せるよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議を開き、関係者全員で話し合い、一人ひとりに適したサービス内容をケアプラン・モニタリングを通して作成し、実施している。	日頃の関わりの中で利用者や家族の思いや意向を把握し、主治医の指示やケアカンファレンス、モニタリング時の職員の意見を基に、残存機能や習慣、楽しみ事等にも配慮した介護計画を作成している。利用者の状況変化時には計画を実態に沿って変更し、利用者や家族の理解を得てケアに取り組んでいる。実施状況は申し送りやバイタルチェック表、日勤・夜勤日誌等で共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録に個々の状態状況を毎日記入し（バイタル・排泄・睡眠状態）少しの変化や気付きを記入しスタッフ間で情報を共有し連絡ノートを活用しながら介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	グループホームの特長を最大限に生かし（いつでも自宅で過ごしている）入居者様の希望に添えるよう努力している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者様が安心して暮らせるよう日頃からの避難訓練・イベント等との協力をお願い又、地域の方々・ボランティアなど協力して頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医の定期往診（月2回）緊急時の対応、通院支援、適切な医療が受けられるよう支援している。	本人・家族が希望する医療機関での治療を支援しているが、入所者の殆どが協力医療機関を主治医としており、他に精神科など3医療機関でも受療中である。主治医や歯科、精神科による訪問診療が実施され、他科受診も家族と協力して適切な医療を受けている。協力医療機関との医療連携の体制が構築され、また、日頃から衛生や健康管理を徹底しており、健康状態は家族にも密に報告して利用者及び家族の安心や信頼に繋がっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常生活の中で入居者様の体調不良を早期に発見し連絡（FAX）し、適切な指示が受けられる体制になっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入居時にはご家族様と共に付き添い、入院に至るまでの情報を医療機関に提供し入院中にも面会し経過報告をお聞きしご家族様との連携を取り、早期に退院できる方法を医療機関と相談し対応している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>グループホームでは看取りケアを行っており、マニュアルも作成している。入居時、更新時、看取りケアについて現時点での意向をアンケートに記入して頂いている。終末期は協力医療機関・スタッフ一丸となってサポート支援している。</p>	<p>利用開始時に、本人や家族に重度化や終末期の対応を指針で説明して理解を得ており、入所後は病状に応じて話し合いを行い意向の確認を行っている。重度化した時点で主治医より病状の説明があり、家族の要望等を十分に聞き取ってホームで可能な限り意向に沿った体制を整えてケアしている。本年度も1件の看取りを実施しているが、多くの利用者が最終段階で医療機関への入院を希望している。看取り実施後は振り返りや意見交換を行って、スキルアップと職員の不安の軽減を図っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変や事故発生時のマニュアルを作成しており、スタッフ全員把握している。応急手当・AED使用等研修に参加し実践力を身に付けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に避難訓練実施。防災教育・災害時対応の研修会への参加、年1回夜間避難訓練には消防署・地域の方々の協力を得て行っている。</p>	<p>災害対策については年1回、消防署の協力を得て（夜間想定を含む）火災発生を想定した訓練を実施し、併せてホーム独自に年3回、通報、避難等の自主訓練も実施している。従来、訓練には近隣住民の協力も得られているが、本年度はコロナ禍に配慮して、利用者と職員とで実施している。日頃から通報の方法や避難経路を確認し災害の報道を基に意見を交わして防災への認識の共有に努めている。自動火災報知機やスプリンクラーが設置され、ラジオや卓上コンロ等を備え、食糧品、飲料水、介護用品等も1週間分備蓄している。ホームは地域住民の避難場所に提供している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様一人ひとりの人格を尊重し思いやりのある接遇・自尊心を傷付けない程度を常に意識している。又、個人情報秘密保持の取り扱いにもスタッフ一同十分配慮している。	利用者の人格や誇りを損ねる事の無いように、法人やホーム独自の接遇研修の中で認識を深めている。日頃からケアのモットーを胸に、利用者の心身の状態や生活歴、習慣等に配慮しながら自己決定を尊重した支援に取り組んでいる。ホームはプライバシー保護に配慮した構造になっており、衣服の着脱や排泄、入浴時の声掛けは羞恥心にも配慮して適切な声のトーンや言葉遣いに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりに合わせた声かけを行い「はい」「いいえ」で答えられる様、自己決定しやすい様、働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの意思決定を最優先にして入浴や食事も無理強いするのではなく時間やペースを大切にして本人希望に沿って支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	定期的に妻のカットして頂くようビューティーヘルパーさんをお願いしている。起床時の整髪・衣類のチェックなどを行い、気持ち良く過ごして頂けるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材や昔懐かしいものなどそれぞれの好みを把握し、一人ひとりに合った食事形態を工夫し準備や片付けなどもお願いしている。	食事は利用者の何よりの楽しみで関心も大きいことから、好みや栄養バランス、形態、季節感、アレルギー、盛り付け等に配慮している。おせちや敬老会、クリスマス等の行事食や誕生日の希望食、手作りのおやつ、テイクアウトの弁当、園庭でのバイキング、庭の梅を収穫して梅干し作り等、食事が楽しみとなるように工夫しているが、コロナ禍に配慮して外食や家族との会食等は自粛中である。利用者も食材の下ごしらえやお盆拭き等を楽しみながら行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの摂取量、咀嚼、嚥下力を配慮し栄養不足、水分不足の入居者様には高カロリーゼリーなど提供し、夏場はお茶をゼリー状し水分確保に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの大切さを理解し、毎食後、一人ひとりに合わせた口腔ケアを行い、毎食後声かけ介助することで習慣となるよう支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し出来る限りトイレで排泄して頂けるよう立位が可能な限り声かけ誘導・介助を行い支援している。	利用者の自尊心や習慣、羞恥心等に配慮し、身体の状態やパターンに応じた支援をプランに反映させて改善に取り組んでいる。昼間は声掛けや誘導等で可能な限りトイレでの排泄を支援し、夜間のみポータブルトイレやオムツを使用する利用者もいる。介護用品やケアの方法、利用者の残存能力等に注目して取り組んでおり、オムツからリハパンへの移行例も見られている。便秘の予防に植物繊維の多い食事や水分の摂取、運動量に配慮して自然排便に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品・食物繊維の多くある食材を選び、排便チェックも行き日々の排便状態をスタッフ全員で共有し予防に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援している	入浴を拒否された入居者様には時間をずらしたり、翌日に変更しコミュニケーションをとりながら楽しく入浴して頂けるよう支援している。	基本週3回、個浴での入浴を支援しているが、必要時には、その都度、シャワーや温タオルで保清している。順番や温度、時間、同性介助等は利用者の意向に沿って柔軟に対応し、入浴剤やゆず湯など工夫して楽しんでもらっており、入浴後は水分補給や皮膚疾患の手当を支援している。入浴をためらう利用者には無理強いしないで、時間の変更や声かけ等を工夫するなど利用者自身の意欲を待って支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	それぞれプライベート空間があり、いつでも好きな時に休息して頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬一覧表があり、スタッフがいつでも閲覧でき、入居者様の薬を理解している。又、服薬時には2人で必ずチェックを行い、服用後のチェックも行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活が変化のない生活を送る事のない様、レクリエーションの工夫や運動、コミュニケーションの向上に努め、楽しく過ごして頂けるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	現在は、コロナ渦で行事等すべて中止となり、外出が出来ない状態ですが、コロナが治まったら以前のように外出支援をしたと思っています。	コロナ禍の制限はあるが、感染予防対策を徹底したうえで、利用者の状況に応じて周辺の散歩や苑庭での日光浴、菜園の野菜や花を眺めるなど日常的に楽しんでいるが、一時帰宅や外泊、外食、墓参等の外出は控えている。地域のイベントの殆んどが中止され、ホームの行事も十分には実施できない現状であるが、ホーム内で軽い体操やゲーム、カラオケ、ビデオ鑑賞等、工夫してリフレッシュを図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現在自己管理されている方はいらっしゃいませんが、御家族から預かっているお小遣いの中から本人に必要な買い物支援は行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>現在、携帯電話を持っておられる入居者様もおられ、自由にお話をされたり又、宛にかかってきた時も取り継ぎ、いつでもお話ができるよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>四季を感じ取ることで飾りつけや木の温もりを感じられる和家作りとなっており、大きな窓・中庭もあり、開放感があり、空調設備も整って居心地よく過ごせる様工夫している。</p>	<p>ホームは木材を活かした和風の構造で、和やかで落ち着いた雰囲気である。利用者が昼間の殆どを過ごすリビングは中庭や天窓の設置で明るく、余裕あるスペースが確保されており、利用者の作品や季節感のある飾り物、観葉植物が飾られ、畳スペースも設けてある。空調や整理整頓が徹底され、利用者は四季を感じながら自由に平穏な日々を過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビング（共用空間）の中で1日で1番長く過ごされている場所として入居者様同士、お話をしたりのんびり過ごせる様支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、テレビ・家具・家族の写真等を持ち込まれ、ご自分の部屋で安心安全に過ごして頂けるよう工夫している。</p>	<p>居室はフローリングに掃出し窓の構造で、窓のサッシの内側には障子戸があり、2畳程の畳スペースも設けてある。余裕ある広さが確保されて明るく、エアコン、ベッド、洗面台、作り付けの整理棚、戸袋が備えてあり、利用者の意向に添って清掃や整理整頓を支援している。各居室には利用者の名前の表示のほか住所も表示している。利用者は自宅で愛用していた寝具、家族写真、小物等を持ち込み、自身の作品や長寿祝いなどで頂いた品物等も飾って、家庭同様に居心地良く過ごせる環境になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>動線には、障害物となるものは置かず、必要な時には目印をつけ転倒防止し安全に自立した生活が送れるよう支援している。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない